



めざせ! One大阪 ISHIN TIMES 維新タイムズ

Vol. 1
令和8年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

大阪維新の会 大阪府議会議員

杉江ゆうすけの府政報告

副首都・大阪&都構想の設計図づくり 大阪・吹田のまちづくりに全力疾走!

令和8年2月定例府議会において、約3兆9000億円の過去最大規模の予算が賛成多数で可決成立しました。当初予算では、万博のレガシーを活かした副首都・大阪の早期実現や物価高対策を含めた誰もが安全安心に暮らせる社会の実現、次代を担う子ども達が自らの可能性を追求できる大阪の実現等に重点配分されています。予算の概要は裏面をご覧ください。

今回の維新タイムズでは、2月定例会での質疑に加え、吹田市内に進む万博アリーナ等の整備、上の川周辺のまちづくり等も記載しています。質問の詳細は下記QRコードをご覧ください。

また、ご意見・ご要望等ございましたら、大阪府議会議員・杉江友介事務所までお寄せください。



オンライン議会報告会
〈毎月22日開催中〉



YouTube
杉江ゆうすけ 検索
杉江友介の政治活動や
大阪府議会での取組等
YouTubeで動画配信中!

府政に関する相談やお問合せは
杉江友介事務所まで

〒564-0025 吹田市南高浜町26-3
TEL (06) 6318-0055 FAX (06) 6318-0057
Mail info@sugieyusuke.net HP sugieyusuke.net



杉江HP

杉江友介の質問(総務常任委員会)

質問の詳細はこちらから▶



都構想の設計図づくりの今後の進め方

Q 知事は「副首都大阪の実現」と「都構想の設計図づくり」を公約に掲げて出直し選挙で当選し、都構想の設計図づくりに着手するため、2月議会に法定協議設置の議案を提出した。今後、議会や住民の理解を得ながら、知事はどのようにして「都構想の設計図づくり」を進めていくのか。

A 副首都の制度化は、明治維新以来の日本の統治機構改革であり、東京一極集中の経済構造から、将来の道州制も見据えた多極成長型国家への転換を図る第一歩となる。副首都・大阪を実現するには、都構想が必要であり、副首都の制度化に合わせて、その設計図づくりを進めるために、出直し選挙の公約に掲げたもの。先の選挙では、都構想の必要性を訴えたが、なぜ副首都に都構想が必要かという点については、さらに住民への正確な情報提供、十分な説明が必要と考えている。その意味で、大阪市会において、住民の意見を聞くプロセスや、府議会と大阪市会で足並みを揃えて合意形成を図るといことは、議会のご判断なので、尊重する。選挙の公約でお約束した「副首都大阪の実現」と「都構想の設計図づくり」に向けて、知事、府議会、市長、市会の4者が合意できるよう、引き続き、丁寧に取り組んでいきたい。

事業スケジュール(想定)

2025 (R7) 年1月15日 事業予定者より「環境アセスメント提案書」及び「大規模開発事業構想届出書」を吹田市に提出
2027 (R9) 年1月 事業計画の承認 / 貸付・売買契約の締結

《第I期・第II期》アリーナ等建設工事

2030(R12)年6月 交通環境整備に係る財産取得

2030(R12)年7月 第I期(アリーナ等)開業

《第III期・第IV期》建設工事

2038(R20)年5月 全施設 開業

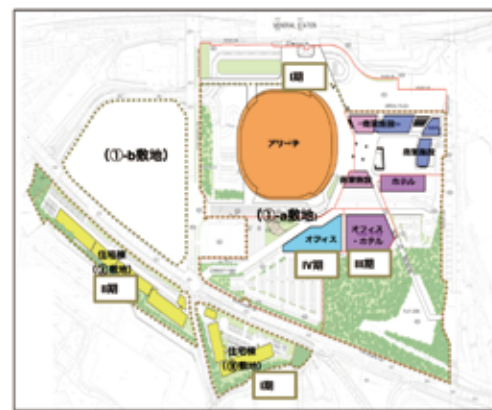
※環境アセスメント等の進捗の影響により、2030 (R12) 年3月であった第I期(アリーナ等)開業スケジュールに変更が生じている。

万博アリーナ等の整備

万博アリーナ等の整備について、大阪府戦略本部会議において、府が実施する園内通路の範囲等が決められ、府議会でも関連予算案が可決されました。今回は、その会議資料の一部を記載しています。現在、吹田市による環境アセスメントの事前協議が進められており、2030 (R12) 年6月のアリーナ等の第I期開業に向け、地域の声も大切にしながら、大阪・関西を代表するエリアとなるように尽力していきます。(資料は大阪府戦略本部会議より)

《施設配置計画》

活用用地	事業計画	事業完了時期(予定)
①-a (約12.1ha) 定値	(第I期) ・アリーナ ・商業施設 ・ホテル	(第I期) 2030年7月
	(第III期) ・オフィス・ホテル (第IV期) ・オフィス	(第III・IV期) 2038年5月
①-b (約2.5ha)	検討中	-
②(約1.3ha) 売却	(第II期) 共同住宅	2032年6月
③(約1ha)	(第I期) 共同住宅	2031年3月



※前回の戦略本部会議時(令和6年11月20日)より一部変更あり

交通環境整備について(府が実施する範囲)

- アリーナ等の整備区域の交通環境整備について、覚書に基づき大阪府の実施範囲を整理
 - ・当該区域内には、地域住民の生活に欠くことのできない園内通路が存在
 - ・万博記念公園は広域避難地に指定されており、通行の安全性及び利便性の確保は行政的課題
- ◀覚書第3条第2項▶ 一般の利用にも供される通路及び広場区域の整備に要する費用は、府が認める範囲において府が負担

一般の利用に供される園内の通路及び広場の一部について大阪府が整備

- | 大阪府が整備する範囲 |
|------------------------|
| ・駅前ロータリー・ペDESTリアンデッキ |
| ・アリーナ前ペDESTリアンデッキ(通路部) |
| ・園内通路、自転車ルート |
-
- | 事業予定者が整備する範囲 |
|-----------------------------|
| ・アリーナ・アリーナ前ペDESTリアンデッキ(停留部) |
| ・商業施設、ホテル、オフィス・ホテル |
| ・オフィス、アリーナ前広場、駐車場、駐輪場等 |



大阪維新の会 大阪府議会議員団の府政報告

令和8年度 大阪府当初予算が成立 **3兆9,216** (一般会計) 億円

副首都実現加速予算 ~新たなフェーズへの飛躍~ 予算規模は過去最大!



吉村洋文知事

2月定例会 維新府議団 代表質問 (令和8年3月2日)

角谷庄一 幹事長

副首都実現に向けた大阪都構想の必要性

Q 大阪都構想が実現しなくても、副首都に指定される可能性が出てきたわけだが、それでも大阪都構想に挑戦するのか、知事に伺う。

A 副首都は首都機能のバックアップに加え、日本の経済成長のけん引役を果たす役割と権限が与えられる。府と市を再編し新たに強力な自治体を生み出す都構想が、大阪における副首都として最もふさわしい地方自治のあり方であり、その実現をめざす。

万博の剰余金の活用

Q 万博の剰余金を、どのように活用すべきと考えているのか、知事の所見を伺う。

A 大屋根リングの一部を残置し、記念館とともに会場跡地における取組や、最先端技術等の実装化・産業化を後押し、新たなビジネスチャンスの創出など、万博レガシーの継承に活用すべきと考える。

要望 ぜひ万博レガシーを「形」にさせていただくことを強く求めておく。



角谷庄一幹事長

私立小中学校の経常費補助金の引き上げ

Q 副首都大阪の実現をめざす中で、教育環境を充実させ将来の大阪を支える人材育成は不可欠。今後の大阪の教育力の向上や人材育成に向けた私立小中学校への期待について、知事に伺う。

A 大阪の成長・発展のためには、次代を担う子どもたちへの投資は必要。公私を含めた大阪全体の教育の充実に取り組んでいるところ。大阪の教育の質を高めていただくことを期待している。

前田将臣 政調会長代理

「Beyond EXPO 2025」の取り組み

Q 大阪の経済成長の方向性を示す「Beyond EXPO 2025 (案)」で掲げた2040年代に名目GDP80兆円の目標達成に向け、どのような取り組みを進めていくのか伺う。

A 国がめざす「成長型経済」に取組み、万博レガシーを活かした成長産業分野や観光分野に、注力して取組むことで大阪の経済成長を加速させる。

Q 「オール大阪」で推進していくことが極めて重要であるが、今後どのように府内全域を成長させていくのか伺う。

A 市町村と意見交換を行いながら、施策のバージョンアップを図り、府域全域の成長に取り組んでいく。

大阪のデジタルインフラ整備

Q 首都機能のバックアップとして、デジタルインフラの整備は重要な取組であるが、具体的な取組内容について伺う。

A 官民協議会を設置し、デジタルインフラ整備に関する計画策定に加え、地域にもたらす効果の検証や、データセンター集積候補地の条件整理などを進める。

地域公共交通の確保・維持

Q 「地域公共交通は市町村の役割」という従来の考え方から一歩踏み出し、財政面も含めた直接支援を行うべきと知事へ提言していたが、今後どのように市町村等を支援していくのか伺う。

A 地域公共交通をとりまく状況は依然厳しいことから、市町村等が行う取組に対し直接的な支援を実施していきたい。

要望 公共交通戦略の中にも、広域行政である府の役割を位置付け、将来にわたり必要な公共交通サービスが確保・維持されるようお願いする。



前田将臣 政調会長代理

令和8年度 大阪府当初予算 重点分野

万博のレガシーを活かした「副首都・大阪」の早期実現

626.4 億円

- 最先端技術等の実装化・産業化の加速
- スタートアップエコシステムの推進
- IRを核とした国際観光拠点の形成
- 大阪ならではのにぎわいの創出
- 夢洲、うめきた2期、大阪城東部の活性化
- 淀川左岸線、なにわ筋線、三大水門の更新等



誰もが安全・安心にいきいきと暮らせる社会の実現

173.3 億円

- 子ども食堂への支援、学校給食の無償化
- 中小企業の賃上げ促進
- 医療機関等の災害対応力の強化
- 依存症対策、特殊詐欺被害の防止
- デジタルサービスの実装支援
- 基礎自治機能の充実・強化等



次代を担う子どもたちが自らの可能性を追求できる社会の実現

343 億円

- 全学年での授業料等の完全無償化
- 全府立高校等での姉妹校交流
- 大阪公立大学での秋入学制度の導入
- 不登校児童・生徒への支援の充実
- 児童虐待への対応強化等



吉村知事の府政運営の方向性

「副首都・大阪」の実現

日本の成長エンジンとして世界に伍する都市へと飛躍

堅調な大阪経済

名目府内総生産 (過去最高) **約45兆円** (R5年度)

実質成長率 (2年連続全国を上回る) **約1.2%** (R5年度)

インバウンド (過去最高) **約1,760万人** (R7年) ※推計値

さらなる成長

- 成長産業の創出
- 世界との戦略的交流
- 成長人材の確保・育成

都市力の向上

- 都市魅力の向上
- まちづくり
- 都市基盤整備

安全・安心

- 物価高騰への対応
- いのち・健康と安全・安心
- 暮らしの充実

次世代への投資

- 学習環境の充実
- 国際社会での活躍
- 健やかな成長

大阪・関西万博のレガシーを活かした

さらなる飛躍

- 万博を機に芽吹いた **革新的な技術** の数々
- 大阪・関西の **プレゼンス向上**
- **ビジネス・文化・外交** 分野での世界との **交流**
- 子どもたちが「**未来社会**」や「**世界**」を **体験**



©Expo2025

上の川周辺のまちづくり 第1期工事完成！更に第2期へ

長年の地域の懸案であった上の川周辺のまちづくり(阪急豊津駅から上流側へ約300m)は、大阪府と吹田市の連携により、河川を暗渠化し、その上部に歩行空間と府道を整備する計画となり、令和2年度に事業着手されました。河川の暗渠化は大阪府が、上面の歩行空間等の整備は吹田市が担い、昨年度末に工事が完了し、3月28日に遊歩道も供用開始となりました。要望活動、調査計画、工事の各段階でご尽力頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。引き続き、蓮華寺橋から上流側の2期工事(河川の暗渠化及び歩道の整備)の実現に尽力していきます。(写真は吹田市作成資料より)



着手前



完成